【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】平成24年11月22日(2012.11.22)

【公表番号】特表2012-504472(P2012-504472A)
【公表日】平成24年2月23日(2012.2.23)
【年通号数】公開・登録公報2012-008
【出願番号】特願2011-530246(P2011-530246)
【国際特許分類】
Ａ６１Ｆ　 9/008　 (2006.01)
Ａ６１Ｂ　18/18　 (2006.01)
Ａ６１Ｂ　18/12　 (2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｆ　 9/00　 ５０１
Ａ６１Ｆ　 9/00　 ５０９
Ａ６１Ｂ　17/36　 ３４０
Ａ６１Ｂ　17/39

【手続補正書】
【提出日】平成24年10月1日(2012.10.1)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
眼に治療を施すエネルギー伝導システムにおいて、
眼に治療を施すためにエネルギー源からのエネルギーを伝導するように構成されている、伝導エレメントと、
伝導エレメントに抜去可能に取り付けられるように構成された被覆であって、被覆が眼に配置可能な接合面を有し、接合面の少なくとも一部が１つ以上の誘電体を含み、およびエネルギー伝導エレメントからのエネルギーが接合面を通じて眼に送達可能である、被覆と、
を含む、システム。
【請求項２】
被覆が伝導エレメントの一部の上に囲いを形成する、請求項１に記載のシステム。
【請求項３】
被覆および眼の接合面を冷却するために囲い内に冷却剤を送達することができるようになっている冷却剤送達システムであって、囲いが、冷却剤が眼と直接接触することを防止する、冷却剤送達システムを更に含む、請求項２に記載のシステム。
【請求項４】
伝導エレメントが第一電極および第二電極を含み、第一電極および第二電極が間隙によって分離され、伝導エレメントがエネルギーを遠位端に伝導し、および被覆が遠位端上に抜去可能に取り付けられるように構成される、請求項１に記載のシステム。
【請求項５】
被覆が伝導エレメントを受ける空洞を形成する、請求項１に記載のシステム。
【請求項６】
接合面が凹状である、請求項１に記載のシステム。
【請求項７】

被覆と結合したキャリアを更に含み、キャリアが被覆の形状を画定する支持構造体を含み、およびキャリアが被覆を伝導エレメントに抜去可能に取り付けるように構成されている、請求項１に記載のシステム。

【請求項８】

キャリアが成型熱可塑性ポリウレタン構造体であり、および被覆がキャリアに熱的に接着されたポリウレタンフィルムである、請求項７に記載のシステム。

【請求項９】

支持構造体が、伝導エレメントの外周を受けて係合するカラーを含む、請求項７に記載のシステム。

【請求項１０】

支持構造体が、伝導エレメントの外周を受けて係合する複数のリブを含む、請求項７に記載のシステム。